「こだわりの宿」31軒を紹介 特集

今年1月に開かれた「2009年度人気温泉旅館ホテル250選認定証授与式」（今回の特集は、250選入選施設の中でも、施設、料理、サービスなど、自館の特徴を強く打ち出し、好評を得ている31軒を紹介したものです）

順不同　9～11面も特集

香川県・花樹海温泉

喜代美山荘 花樹海

多島美と街の絶景望む

浴場・眺望

「喜代美山荘花樹海」（三矢昌洋社長）は、客室、展望大浴場から屋島など瀬戸内海の多島美や高松市街地の夜景を望むロケーション自慢の宿。本格和風旅館ながら、アジアンリゾートをコンセプトにしたデザイナーズルームがあり、リゾート気分も楽しめると人気。

客室には、足元から広がる全面ガラスを採用。露天風呂付き和室など、趣きの異なる全ての客室から、瀬戸内の景色を堪能することができる。

視界200度の展望パノラマ大浴場からは、瀬戸内海と高松市内の両方を見渡せる。温泉は、花崗岩岩盤深くから湧き出し、高濃度のラドンが主成分。毎分200ℓの豊富な湯量を誇る。源泉は全客室にも引かれ、デザイナーズルームでは、露天ジャグジーが楽しめる。

料理は、讃岐生まれの食材にこだわり、旬の味を堪能できる会席料理。

▽喜代美山荘花樹海は香川県高松市西宝町3―5―10。☎087・861・5580。http://www.hanajyukai.jp/

デザイナーズルーム　オリエンタルヴィラ（蒼の楽園）

香川県・こんぴら温泉郷

湯元こんぴら温泉 華の湯紅梅亭

敷地内に2種類の源泉

温泉・浴場

香川県こんぴら温泉郷の「湯元こんぴら温泉華の湯紅梅亭」（近兼弘幸社長）は、館内の雰囲気も良く、従業員のサービスも丁寧で女性客の評判も高い。特に温泉は敷地内に独自源泉を持ち、2種類の良質な源泉を楽しめる温泉自慢の宿。「湯元こんぴら温泉華の湯」「こんぴら温泉いこいの湯」の2つの温泉が堪能できる。

独自源泉「華の湯」の泉質はナトリウム・カルシウム―塩化物温泉。庭園大浴場露天風呂「花てらす」で楽しめ、庭園露天風呂をはじめ、立ちっぱなしの湯「大滝の湯」や「ひのき香風呂」などを外湯感覚で満喫できる。

「いこいの湯」の泉質はアルカリ性単純温泉。地下大浴場「花すみか」は、「たき湯」や「あわ露天」などバラエティーに富んでいる。女性客は、バラの花びらを浮かべた「はな風呂」など優雅な演出も楽しめる。

▽湯元こんぴら温泉華の湯紅梅亭は香川県仲多度郡琴平町556―1。☎0877・75・1111。http://www.koubaitei.jp/

花てらす露天風呂

石川県・和倉温泉

加賀屋

おもてなしの心を大切に

接客・サービス

おもてなしの心を何よりも大切にしています―。石川県・和倉温泉の加賀屋（小田孝信社長）が唱える信条だ。

明治39年創業の同館。屋号には創業者の小田与吉郎氏が加賀・津幡の出身であることと、天下に響く雄藩加賀百万石のように、大きく飛躍したいとの願いを込めている。

加賀屋のもてなしの心は、先代女将の小田孝さん（故人）の信条から生まれた。「いつもお客さまの満足を第一に考え働いた」という小田さん。小さな気配り、心配りを基本にした客室係のサービス。そして、今はどこでも見られる習慣、女将たちによるあいさつまわりは、ここ加賀屋で始まったと言われる。

「小田孝はお客さまには『できません』とは言わないようにして、1人ひとりのお客さまと真剣勝負をするつもりで、サービスにあたりました」（同館）。その心は今も受け継がれている。

雪月花、能登渚亭、能登客殿、能登本陣の4棟から成り立っている。雪月花18～20階は特別階「浜離宮」。専用フロアで、全室、七尾湾を一望できる。

湯は十返舎一九が効能を書き記すほど全国でも著名な温泉の1つ。姉妹館「あえの風」の浴場も利用でき、両館はマイクロバスで結ばれている。

旅の楽しみの1つ、料理は「お客さまの顔を思い描いて、1つひとつの皿に丁寧に盛りつけるよう指導しています」と料理長。連泊の客には料理人が直接部屋に出向き、好みを聞いている。

海外展開も視野に。台湾でフランチャイズ展開を計画している温泉旅館「日勝生加賀屋」が今冬にも開業。台北市中心部から車で約30分のリゾート地・北投温泉に建設され、地上14階、地下4階、総客室数90室の規模。

「能登ふるさと博」が10月2日まで能登全域で開催されており、館内は活気に溢れている。

▽加賀屋は石川県七尾市和倉町ヨ部80番地。☎0767・62・1111。http://www.kagaya.co.jp/

加賀屋全景

心を込めてお出迎え

徳島県・新祖谷温泉

ホテルかずら橋

ケーブルカーで露天へ

温泉・浴場

ホテルかずら橋（谷口宏社長）は、祖谷川に架かる吊り橋「かずら橋」の観光拠点とともに、温泉自慢の宿でもある。中でも特筆すべきは、自家用ケーブルカーで行く男性用、女性用、混浴の天空露天風呂だ。

男性用を「雲海の湯」、女性用を「樹海の湯」、混浴を「筍の湯」とそれぞれ命名。「天空に広がる星を仰ぎ、雲海を見下ろす」と形容するように、祖谷の大自然を見下ろしながらの豪快な湯浴みを楽しめる。

露天風呂に併設した湯上がり処「半兵衛の家」は、囲炉裏を配した茅葺き屋根のクラシックな建物。湯上がりのリラックスタイムを過ごすのに最適だ。

このほか絶景を見下ろす足湯、貸し切り用に昔懐かしい「五右衛門風呂」がある。

本格的な祖谷の青石造りの露天風呂付き客室「天神」も人気。名湯をプライベート空間で楽しめる。

▽ホテルかずら橋は徳島県三好市西祖谷山村善徳33―1。☎0883・87・2171。http://www.kazurabashi.co.jp/

雲海の湯（男性）

鳥取県・皆生温泉

華水亭

日本海望む絶景露天風呂

温泉・浴場

日本海に面した山陰の名湯、皆生温泉。昔、漁師が海中に温かい水が湧いているのを見つけたのが、その始まりといわれる。泉質は弱食塩泉で、天然タラソテラピーとばかりに美容と健康、長寿を求めて多くの観光客がこの地を訪れている。

華水亭（伊坂博社長）は、姉妹館の皆生グランドホテル天水とともに同温泉を代表する旅館だ。全室和室で、海を一望するぜいたくな空間のなかでも、特にこだわりを見せるのがやはり温泉だ。4つの大浴場、露天風呂と、同じく4つの貸し切り家族風呂を持ち、館内に居ながらにしてぜいたくな湯巡りが楽しめる。

02年4月に新設された大浴場、男性用「松風の湯」と女性用「大山の湯屋」は、内風呂よりも露天風呂の方が広いというユニークな特徴を持つ。日本海に面するというメリットを最大限に生かし、特に眺望を重視した造りにしている。

また、内風呂にも工夫を凝らした。例えば、冬場は浴室内に暖房を入れ、窓ガラスが曇らないように配慮。屋内に居ても見事な景色を四季を通じて楽しめるようにしている。

このほか松風の湯は檜造りの寝湯を備え、寝ながら眺望を堪能できる。大山の湯屋はマイナスイオンを発生し、健康にいいトルマリンを入れているほか、海と大山の両方が見られる抜群の景観を誇る。

両浴場と同時にオープンした貸し切り家族風呂は、露天風呂「福の湯」「禄の湯」「寿の湯」と、内風呂の「瞑想の湯」。露天風呂は開放感が特徴。内風呂は天井が高く、広々とした雰囲気だ。

館内にはまた、露天風呂付き客室を8室備え、同館ではこれら新しい温泉施設を総称して「湯賓館」と呼んでいる。

伊坂社長は「温泉は自家源泉。大きな浴場と見事な景観でゆったりとした時をお過ごしください」と話す。

▽華水亭は鳥取県米子市皆生温泉。☎0859・33・0001。http://www.kaike-grandhotel.co.jp/kasuitei/index.html

女性露天風呂

男性露天風呂

熊本県・黒川温泉

湯峡の響き 優彩

様々な表情見せる名湯

温泉・浴場

多くの人から支持を受け続ける熊本・黒川温泉。なかでも筑後川の源流・田ノ原川沿いに建つ「湯峡の響き 優彩」（高島淳一社長）は、落ち着いた雰囲気のなか、源泉かけ流しの湯を楽しめることで名高い宿だ。

同館では敷地内の自家源泉から88度の湯を引湯。毎日入れ替える源泉100%の湯に入浴できるとあって、湯めぐりする人が数多く訪れる。

日帰り利用できる「やわらぎの湯場」も趣深いが、一番のおすすめは宿泊者だけに開かれた湯空間「まほろばの湯場」。窓一面にモウソウダケが迫る「竹林の湯」、ヒノキの香りと温かさに包まれる「双檜の湯」、川のせせらぎ音が楽しめる「渓流の湯」の3つの風呂が、朝、昼、夜と様々な表情を見せる。湯とともに、移ろう風情をゆったりと味わってみてはどうだろうか。

▽湯峡の響き 優彩は熊本県阿蘇郡南小国町黒川温泉。☎0967・44・0111。http://www.yusai.com/

竹林の湯

長崎県・平戸千里ヶ浜温泉

ホテル蘭風

天然活魚料理と400坪の温泉

料理・食事

長崎県・平戸千里ヶ浜温泉のホテル蘭風（田口満社長）は、目の前が海という絶好のロケーションにある。遠浅で幅1キロの長大なプライベートビーチでは、海水浴はもちろん、ウインドサーフィン、ジェットスキー、カヌーなど、様々なマリンスポーツが楽しめる。さらに1年を通して地引網の体験もでき、教育旅行プログラムとしても人気を博している。

そんな同館がこだわるのは料理と温泉。料理は海の幸がメーンで、天然活魚コーナーでは定置網で取れた天然活魚を漁業組合から買い取り、いけすで泳がせている。好き嫌いを問わない食材を客に選んでもらい、目の前で調理して会食場へ運ぶという趣向だ。

炉端焼きコーナーでは、ちゃんぽん、うどんを気軽に楽しめるほか、活魚コーナーで選んだ魚介類も味わえる。日帰り入浴客の利用も多い。

温泉施設は、西九州最大規模。400坪の敷地に18個の湯船があり、ジャグジー、薬草風呂、海草風呂などバラエティに富む。

露天風呂は湯船が5つ。九十九島を一望する展望大浴場や、庭園風の屋内大浴場など、温泉ざんまいを楽しめる。

温泉の泉質はナトリウム―炭酸水素塩泉（中性低張高温泉）。神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩など、様々な疾病に効果があるといわれている。

「料理については、平戸の新鮮な海の幸を豊富に使った会席料理を中心に、厳選された素材を使用しております。特に平戸のひらめは、水揚げ高日本一を誇る平戸の志々伎漁協で採れた天然平戸黄金ひらめで有名です」

「温泉は平戸で唯一敷地内に湧出する泉源を持ち、日量110トンの湯量を基本的に掛け流しをしていますが、湯船の総量が75トンのため一部加水、循環を行っています」（田口社長）。

敷地内には本格的な乗馬コースとショートゴルフコースも。とにかくスケールが大きい。

▽ホテル蘭風は長崎県平戸市川内町55。☎0950・23・2111。http://www.hotelranpu.com/

天然活魚をふんだんに使った料理

西九州最大規模の大露天風呂